

# PLAINセンター

CENTER for PLAnning & INformation systems



## ニュース

2005.1.14 / No.135

### 新年を迎えて

明けましておめでとうございます。

私、長瀬は今年3月で定年退職いたしますので、今回が本PLAINセンターニュースで皆様にご挨拶する最後の機会となります。しかし本ニュースはWebでも公開している事もあり、国会図書館の検索ロボットにより検出され、国会図書館電子ジャーナルとして蔵書されています。こちらは廃刊に追い込まれる事なく、残るPLAINセンタースタッフ一同で発行を続けてくれるものと期待しています。継続は力なりと言いますが、思えばこのニュースも本センター前身の宇宙科学研究所、宇宙科学企画情報解析センターが発足した際に、計算機利用者への事務的な連絡のための月刊連絡紙として発行して以来、今号で135号を数えます。最近では計算機、ネットワーク、データベース、科学衛星運用等に関心のある方々に楽しんでいただけるトピックスを掲載するよう努力しています。今後とも皆様にご愛読頂くようお願いしております。

昨年のPLAINセンターは、科学衛星運用支援・データ処理システム、スーパーコンピュータシステム、および本部内ネットワーク (ISAS-LAN) の維持・管理、科学衛星データベース DARTS システムの開発・構築とその管理・運営・データ公開、工学データベース (EDISON) の開発・構築、国立情報学研究所のスーパーSINETのノードとして高速ネットワークの維持管理、ネットワークセキュリティの監視等に努めて参りました。平成15年度に更新した科学衛星運用支援データ処理システム及びスーパーコンピュータシステムは共に順調に稼動を始めており、全国の関係大学・研究機関からのスパコン共同利用も前年度に比べ倍増するに至っております。加えて平成15年10月よりは宇

宙3機関が統合され、宇宙航空研究開発機構 (JAXA) が発足しましたが、その統合情報化システムの管理運営にも参画し、相模原地区及び宇宙科学研究本部関連施設を連結するISAS-LANは、統合JAXAネットワークの一端を担う事となってきました。

PLAINセンターはスタッフの数も限られておりますが、スタッフ一同全力を尽くして本来職務である自らの宇宙科学研究を遂行するとともに、当センターに課せられた業務を全うして当本部に於ける宇宙科学研究と科学衛星プロジェクトの遂行を支援していきたいと考えております。私どもが今年取り組むべき課題には、(1) 新機構JAXAにおける情報化システムの運営への協力、(2) JAXA ネットの一端を担う相模原関連ネットワーク (ISAS-LAN) の運営、(3) 科学衛星運用の支援とデータ処理システムの管理、(4) スーパーコンピュータシステムの管理と共同利用の促進、(5) 科学衛星データベース (DARTS)、工学データベース (EDISON) の開発と公開、(6) スーパーSINET 宇宙科学研究ノードの維持と宇宙科学研究への利用などがあります。

今年はJAXAとしてはH2Aの打ち上げを成功させ、ISASとしてはAstro-E2の打ち上げを成功させ早期にその成果を世に問うべき年と考えております。これらを成功裏に達成しJAXAが前向きに動き出す事を祈念し、私どもPLAINセンターもささやかながらその一翼を担うため、上記の課題を着実に遂行していきたいと思っております。PLAINセンターが円滑にその業務を遂行できるよう、JAXA内外の関係各位の一層のご協力とご支援を心よりお願いする次第です。

(宇宙科学情報解析センター長・長瀬 文昭)

### パサディナ滞在記 (2)

多くの不安を抱えながらも、このパサディナという町を拠点にアメリカでの生活が始まりました。ロサンゼルス周辺は自動車の普及とともに発達してきた経緯から、アメリカを象徴する自動車社会が展開していますが、大変悩んだ結果「自動車のない生活」をスタートさせることにしました。このことは誰に話しても必ずというほど驚かれるのですが、普段は自転車で活動し必要な時だけレンタカーを借りるという生活も、慣れてしまえば不思議と快適なものです。市街地の近くにアパートを借りたため、職場やスーパーマーケットが徒歩圏内にあったことも大きかったのかもしれませんが。2003年7月からダウンタウンまで鉄道が開通したことも後押しとなりました。「Gold Line」と呼ばれているこの鉄道は非常にきれいで、環境意識の高まりを受けて乗降客数を伸ばしているようです。朝の

通勤時間帯には、フリーウェイの渋滞がひどいこともあり、もちろん日本ほどではないですがダウンタウン方面に出勤するための立ち乗り客が出るほどです。また、自転車での移動もカリフォルニアの爽やかな気候のもとではとても快適で、パサディナ市内のあらゆるところへ自転車で出かけましたが、街路樹から落ちる木の実がパンクを誘発するようで、これにはとても悩まされました。職場で大変お世話になったフリードマン博士に「自動車は買わない。自転車を使う。」と言ったところ、「信じられない。カリフォルニアの人は200m先に行くにも車を使う」と冗談を言われたことが記憶に残っています。

そうは言ったものの、自動車がないのはやはり不便で、日本食材が手に入るスーパーマーケットは少々遠くにありましたが、まとめて買い出したものの自転車

[裏へ続く]

にうまくのせるのに苦労したこともありましたが。新生活のスタートにあたって買った家具を手で抱えて歩いて帰ったり、せっかく買ったハンバーガーが家に着くまでに冷たくなったりした時のわびしさは言い表せないものがあります。時と場所を問わず必ずしも安全というわけではないアメリカでは「自動車」はやはり欠かせないというのが実感です。

こうして新天地に馴染もうとしているうちにいつの間にか、ハロウィン・感謝祭・クリスマスとホリデーシーズンが過ぎ去り、新年を迎えてすぐの2004年1月3日、惑星協会主催の一大イベント「Planetfest '04」が始まりました。このイベントは、JPLの惑星探査ミッションの大きな節目に合わせて開催されており、今回は火星探査ローバー「スピリッツ」の着陸に合わせて、3日・4日の2日間の日程でした。初日はスピリッツの着陸時間が米国太平洋時間の夜8時過ぎに予定されていたので夕刻からの開場だったのですが、ランディングの状況を生中継で体感でき、また著名な作家や俳優の講演や朗読劇も行われるとあって、多くの参加者を集めていました。やはり注目は「NASA TVによる生中継」で、開場の大画面にJPLで実際に行われている火星着陸に向けてのオペレーションがリアルタイムで映し出されることによる現場との一体感、我々一人一人がミッションに参加している一員と思わせる演出にはまさに「鳥肌が立つ」感じでした。この日は着陸の成功に始まって、ローバーから送られてくる最初の映像を待ち、さらにその後来場したJPLのスタッフとの意見交換が終わる頃にはすでに深夜になっており、それでも更なる情報のアップデートを待つ人たちで会場は賑わっていました。

二日目は前日のこともあり午後3時から開場で、この日はローバー着陸についてのその後の報告がJPL



スクリーンに映し出されたローバーの着陸信号を待つ  
JPL コントロールルーム

所長やプロジェクトマネージャーをはじめとするスタッフの皆さんからなされました。こういった会に参加していつも感じていたことですが、一般の方々からの質問がこれでもかというくらいスタッフに浴びせられます。またこのとき着陸イベントに合わせて米国内とブラジルから招待された二人の「Student Astronauts」が登壇して、JPLでのオペレーション現場の様子と感想を生き生きと話していたのですが、その姿を見て不思議と元気がわいてくる自分に気づいたりしました。

またもや紙面が残り少なくなっていました。ここでお話したことは私の米国滞在のほんの一部分だけですので、きちんと様子をお伝えできたかは甚だ疑問ではありますが、これまでこなしてきた私の仕事と一見異なるこの特別な経験を今後の自分の職務に生かし、皆さんに私の得たものを示していくことを肝に銘じつつ、この場は筆を置きたいと思います。

(長木 明成)

## 平成 16 年度 PLAIN センターシンポジウム 「高速ネットワーク技術とその宇宙科学への応用」

表記シンポジウムを下記要領で開催します。

- \* 日時：2/22 (火) 10:00-17:20
- \* 場所：宇宙科学研究本部 (相模原キャンパス)  
新 A 棟 2 階 会議室 A

本シンポジウムでは、スーパー SINET 事業の宇宙科学研究班としての取り組みおよび成果を中心に、これ

らの活動基盤となる高速ネットワーク技術に関する最新情報の紹介など、幅広く情報交換を行いたいと考えています。宇宙科学研究本部内外からの多くのご参加をお願い致します。講演申し込みなど、お問い合わせは [sympo@plain.isas.jaxa.jp](mailto:sympo@plain.isas.jaxa.jp) をお願いいたします。

(高木 亮治)

## 大型計算機に関するお知らせ

申請・相談窓口等について

### ●計算機室関連

申請受付：計算機室 山本 (RN.2103, 内線 8388)

詳細 (ISAS LAN 内限定):

<http://www.pub.isas.jaxa.jp/net/>

<http://www.pub.isas.jaxa.jp/cc/>

下記の各申請を受け付けています。

- ・ISAS ドメインメールサービス
- ・解析サーバ
- ・ISAS LAN ネットワーク接続

計算機等利用上の質問・トラブルなどはシステム・プログラム相談室 (RN 2113・内線 8391) 迄、ネットワー

ク関係の質問・トラブルなどは PLAIN センター本田秀之 (RN 1261・内線 8073) 迄お願いします。

### ●スーパーコンピュータ

詳細:

<http://www.isas.jaxa.jp/home/plain/cpis/>

下記の申請を受け付けています。

- ・JAXA 内の利用申請

お問い合わせは [isas-cc@plain.isas.jaxa.jp](mailto:isas-cc@plain.isas.jaxa.jp) 迄お願いします。

### ●その他の情報システム関連

詳細 (ISAS LAN 内限定):

<http://www.pub.isas.jaxa.jp/> (三浦 昭)

編集発行：宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部 宇宙科学情報解析センター (無断転載不可)

〒229-8510 相模原市由野台 3-1-1 Tel.042-759-8352 住所変更等 e-mail: [news@plain.isas.jaxa.jp](mailto:news@plain.isas.jaxa.jp)

本ニュースはインターネットでもご覧になれます。 <http://www.isas.jaxa.jp/docs/PLAINnews>